

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b><u>30</u></b>

事業所番号	2374700249
法人名	株式会社 ハルス
事業所名	グループホームはるすのお家 いわくら
訪問調査日	平成20年8月18日
評価確定日	平成20年9月9日
評価機関名	福祉総合調査研究機関 株式会社 ヤトウ

**項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

**記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月9日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2374700249
法人名	株式会社 ハルス
事業所名	グループホームはるすのお家 いわくら
所在地	岩倉市大山寺町井之株172-1 (電話) 0587-37-4881

評価機関名	福祉総合調査研究機関 株式会社 ヤトウ		
所在地	名古屋市中区金山一丁目8番20号 シャローナビル7階		
訪問調査日	平成20年8月18日	評価確定日	平成20年9月9日

【情報提供票より】(平成20年7月25日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年10月15日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	25 人 常勤 3人, 非常勤 22人, 常勤換算 人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	2階建ての 1~2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	10,500 円	
敷金	有( 円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) 100,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / (無)	
食材料費	朝食	250 円	昼食	420 円
	夕食	450 円	おやつ	100 円
	または1日当たり		1,220 円	

### (4) 利用者の概要(平成20年7月25日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	6名	要介護2	5名		
要介護3	5名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 88.3歳	最低	84歳	最高	100歳
協力医療機関名	岩倉病院・岩倉中央歯科・丹羽外科、内科				

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

独身寮を改装した建物は、共用空間、居室のほか事務所、交流室、職員の休憩室などに恵まれゆったりしている。入居者の多くは日中リビングで過ごし、風呂場近くの廊下など随所に椅子が置かれ、皆で団欒、ほっと一休み、また、一人で過ごせるように工夫されている。夜間1階では集音機を活用している。日常的に散歩、外食、買い物、喫茶店など地域へよく足を運んでいる。園芸療法として、土作りで家族の協力を得た中庭菜園での水遣り、収穫、食事、漬物作りなどで個々の得意分野や特性を活かせるよう支援し、季節感や五感刺激になっている。夏祭りを通じて子どもとの交流ができ、実習生の受け入れや、地域の方々にホームを知ってもらおうよう介護教室の会場提供をした。管理者は「入居者のためにもっと職員が介護技術をみがき、気持ちに添った関わりをしていきたい」と話された。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善点についてミーティングで伝えましたが、改善にむけて具体的な取り組みはされていない。理念は職員全員で話し合っけてつくりあげていきたいと考えている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は職員全員で取り組んだ。項目数が多く、わからない点は職員同士で話し合い、日常業務内容をわかる範囲で記入し、管理者がまとめた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	区長、民生委員2名、地域包括支援センター職員、入居者、入居者家族、職員の参加を得て、2カ月に1回開催されている。議題は会議の目的、活動報告、今後の予定などで、7月には看護師が「水分補給」について説明した。メンバーの方々より率直な意見や感想、助言をもらい、七夕の日に「春日山部屋」のホーム訪問が実現した。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	夏祭りを除き家族会など家族同士の交流の場は特に設けていない。意見箱も設置してあるが利用はない。管理者は話しやすい環境づくりに努め、訪問時に家族の意見、疑問、不満を聞くようにしている。内容によってはミーティングの議題にして職員に伝え、改善するよう心がけている。家族も何かあれば都度相談し解決の方向に向かって支援されていると感じている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し、回覧物が届けられ、広報、民生委員、区長から地域の情報を得ることができる。ホームの夏祭りがきっかけで近所の子もたちが気軽に遊びにくるようになった。今年は、案内を地域の掲示板やホームの窓に張ったり、子どもたちに渡して参加を呼びかけている。近隣の散歩時に挨拶をしたり、ゴミステーションの掃除をしており、毎月近所の方が野菜やお花を届けてくれる。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	会社の理念「その人がその人としてその人らしく生きるために支え続けることを使命とします」を介護理念としており、ホーム独自の理念はない。今後職員全員で話し合い、地域密着型サービスの果たすべき役割を反映した理念へとつくりかえていきたいと考えている。		理念は職員全員でつくりあげていくものと捉えているので、ミーティングの場などを利用して独自の理念をつくられることを期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は玄関に掲示されている。朝礼で復唱したり、各階のミーティング時に意識を高めるよう促している。運営推進会議の場で地域の人々に、家族へは入居申し込みの際に説明し、理解を得ている。「その人らしさ」を尊重しないような言動が見られた場合は、管理者が現場でさりげなく話しをしている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、回覧物が届けられ、広報、民生委員、区長から地域の情報を得ることができる。ホームの夏祭りがきっかけで近所の子もたちが気軽に遊びにくるようになった。今年は、案内を地域の掲示板やホームの窓に張ったり、子どもたちに渡して参加を呼びかけている。近隣の散歩時に挨拶をしたり、ゴミステーションの掃除をしており、毎月近所の方が野菜やお花を届けてくれる。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ミーティング時に職員へ、「自分たちではホームの質について他と比べられない。日常を評価基準に沿って第三者にみてもらうものである。」と評価の意義、活かし方について一応伝えたが、全員の理解浸透には至っていない。全職員がわかる範囲で自己評価に取り組んだ。前回の評価はミーティングで伝えたが、具体的な改善への取り組みはされていない。		外部評価の意義について職員へ分かりやすく伝えるとともに、評価を活かして具体的な改善に取り組まれることを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>区長、民生委員2名、地域包括支援センター職員、入居者、入居者家族、職員の参加を得て、2カ月に1回開催されている。議題は会議の目的、活動報告、今後の予定などで、7月には看護師が「水分補給」について説明した。メンバーの方々より率直な意見や感想、助言をもらい、七夕の日に「春日山部屋」の力士のホーム訪問が実現した。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>1カ月に1回ほど岩倉市の生きがい課へ行き、担当者と気軽に相談できる環境にある。適切なアドバイスを頂き、支えてもらっている。認知症サポーター講座の依頼を受け、8月2日に出張講座の会場としてホームを提供し、職員も受講した。2カ月に1度介護相談員の訪問を受け、数日後市より気づきや改善点についての報告書が送付され、必要に応じて返信をしている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ホームでの暮らしぶり、健康状態は面会時、あるいは電話にて随時報告している。特に状態に変化があったり、入居間もない方には毎日の様子を丁寧に詳しく伝え、信頼関係を築いている。1カ月に1回ホームだよりや請求書、出納帳のコピー送付時に手紙、行事や日常生活の写真等も同封している。小遣いは1万円単位で預かり、5千円以下になると電話連絡をし、訪問時に補充してもらっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>夏祭りを除き家族会など家族同士の交流の場は特に設けていない。意見箱も設置してあるが利用はない。管理者は話しやすい環境づくりに努め、訪問時に家族の意見、疑問、不満を聞くようにしている。内容によってはミーティングの議題にして職員に伝え、改善するよう心がけている。家族も何かあれば都度相談し解決の方向に向かって支援されていると感じている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>後継者の育成ができてから管理者、役職職員の異動を実施し、安易にはしない。職員のユニット間の異動は各ユニットの特性、職員の性格、タイプを見極め相談のうえ行なっている。家族へは、役職者の退任、変更時はお手紙で伝えるが、介護職員の場合は伝えない。入居者への伝達は各ユニットの特性を考慮して対応している。ダメージは避けられないが関係づくりを第一にし、特に職員の受け入れの際には不安を最小限に抑えるよう心がけている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<b>職員を育てる取り組み</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修はその人に応じて一定期間勤務に同行し、終了後面談を行ない、不安や疑問点などを聞きコミュニケーションを図っている。また、他事業所の体験をしてもらう研修も行っている。管理者研修、中堅職員研修などの外部研修の機会も設け、パート職員も分け隔てなく参加できる。参加者は感想文、報告書を作成し、ミーティング時に発表している。		
11	20	<b>同業者との交流を通じた向上</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	愛知県グループホーム協議会に加入し、研修には内容に応じて管理者や職員が参加している。相談委員会では意見交流や近隣グループホームの見学会が行なわれ、5カ所訪問した。法人内のホームとの交流もあり、尾張旭のバーベキューに参加したり、ホームの夏祭りに招待したりしている。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<b>馴染みながらのサービス利用</b> 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居相談から入居に至るまでの間に一度は本人にホームへ見学に来てもらい、入居者と過ごし、少しでも場の雰囲気を感じてもらうようにしている。また、職員が本人の状態を知る機会にもなっている。面談時には本人や家族の困っていること、不安に思うこと、実情や要望などをしっかりと聞き、できる限り要望に沿った対応ができるよう努めている。特に体験入居は実施していない。入居の決定は基本的には管理者と計画作成担当者で行ない、介護度に応じて現場の意見も取り入れている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<b>本人と共に過ごし支えあう関係</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活活動全般（掃除、料理、洗濯など）や行事、外出を通じて喜怒哀楽を共にし、介護される一方で、共に暮らす共生者として人格を尊重したサービスに心がけ、誰かの役に立っていると実感できる関係づくりに努めている。また、入居者から昔の礼儀作法、裁縫、畑仕事などを通じて学ぶことも多く、日々の関わりの中で過去の経験、得意分野を活かす工夫をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人や家族との面談時の聞き取りや入居後の関わりを通じて生活歴、生活スタイル、希望や意向等の把握をしている。飲食店でのメニュー選び、食材買出し時に食べたい物、お菓子などの希望を聞いたり、居室や外出、入浴での個別対応時もある効率的に活用している。把握が困難な場合は表情を見て思いを見極めるようにしている。気づきや把握した情報は記録し、職員間で共有、各入居者の思いに添った「その人らしい生活」の支援に活かしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>新入居者については、家族、本人から意見や要望を聴き取り、フロア長と計画作成担当者が介護計画を作成し、それをミーティングノートに挟み、職員全員が目を通し確認後サインするよう周知を図っている。介護記録には、サービス内容の欄に支援内容を載せ、職員が介護計画を意識してケアを提供できるよう努めている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3カ月毎の見直しでは、現在の一人ひとりの介護計画について評価するシートに困っていることや意見なども書き、全職員が提出する。それをもとに、家族からの意見や要望も参考に、フロア長と計画作成担当者が介護計画を作成する。入居者の日々の言動の変化に気づくことにより、職員の対応の仕方、促し方が変わってくるとの認識から、見直しの重要性を理解している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>3年前から2カ月に1度、車で来る移動理美容は、顔そり、カット、毛染め、パーマと希望に応じて入居者の好みの髪型にしてくれる。それぞれに専属の理美容師がおり、皆さんお洒落を楽しんでいる。週3回マッサージ師の出張施術や歯科医の往診も希望できる。</p>		<p>医療連携加算を取ってない。提携医療機関の夜間、緊急時の対応連携がないので、提携医療機関の充実を期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所との関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の関わりも大切にしているので、原則かかりつけ医の通院介助は家族に依頼しているが、状況に応じホームでの対応もある。非常勤看護師の同行（サービス）が必要な場合は、受診前と受診後に家族への連絡をしている。入居者で気になる方のいる時は、看護師本人が休みの日でも小まめに見に来ている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	状態変化の兆しが見えた段階で、非常勤看護師はいるが夜間はいないこと、注射、点滴などの医療行為のできないことを伝えたくて、家族と話し合っている。老人保健施設など他施設を提案することもある。重度化した場合の対応に係る指針はないが、ホームで最後まで介護して入院後に亡くなった方もいる。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報に関する記録などは各階のスタッフルーム、または施錠できる事務所に保管している。誤解を招く会話や風景について、入居者一人ひとりの尊厳を大切に、「ダメ」と言わないなどをミーティングで確認している。管理者は個別面談でもプライバシー保護について気づいたことなどを職員に伝えている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな1日の流れはあるが、本人の行きたいところ、やりたいことは制限しない。食事、就寝、入浴時間などは一人ひとりのペースを大切に、希望に沿って支援している。散歩、喫茶店、歌などの場面で本人の希望を促し、思いを引き出し、介護計画に盛り込みながら、理念にある「その人らしい生活」の実現に向け支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	冷蔵庫の食材と、前の献立表を見て、重ならないように入居者の希望も聞きながら献立を皆で考える。週2回の買い物には車椅子の入居者も、職員と一緒に一人ずつ出かける。食材を切り、盛り付けし、食器洗い、食器拭きの一連の作業を入居者も一緒に行っている。菜園でその日収穫した野菜、果物を食卓に供するの楽しみである。家族の許可を得て缶ビールを飲む人もいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴できるが、本人の希望や体調によりシャワーや清拭になる日もある。1人30分位づつゆっくりと職員の見守り、介護で入浴を楽しんでいる。入浴のあまり好きでない方には有名人の写真を風呂の入り口に貼ったり、特別招待券やバラ色のお風呂で誘ったり、仲良しの入居者と一緒に入ったりと工夫し、入浴を楽しんでもらえるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	得意分野を活かしてもらえる工夫をしている。土作りなどで家族の協力も大きい家庭菜園で入居者の育てたトマトなどを収穫し、食卓に供する。居室やリビング、廊下のモップかけ掃除、花の水やり、新聞取り、洗濯物干しとたたみの役割なども入居者が進んで行っている。リサイクル店で購入した着物では、皆で何を作るうかから始まる工程を楽しみながら箸入れ作りに取り組んでいる。カラオケも月1~2回楽しんでいる。		
25	61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームの庭の桜も見事だが、4月には五条川の桜、5月は曼陀羅寺の藤と入居者の希望により、毎月の遠出の計画を立てている。誕生日には本人の希望の所に全員で食事に行く。希望は寿司が多い。日課の散歩では帽子をかぶり、広い中庭から自然を楽しみながら神社に行ったり、喫茶店に行ったりする。車ではホームセンターや百円均一の店にも出かける。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	20時~7時までは防犯のために施錠しているが、日中は鍵をかけないケアに取り組んでいる。外出したような入居者には職員が付き添うが、帰所が困難な時に他の職員に車での迎えを依頼する時もある。この際、時間帯や職員人数により、一時的に施錠することもある。家族の依頼により所在確認のGPSを「お守り」として身につけている方もいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の機器点検時に、点検業者から非常災害装置使用法の説明と防火教育と基礎訓練を受ける。また、年1回、夜間、昼間を想定して職員と入居者で総合訓練をする。2階の入居者は月1回、いつもは閉じてある室内の非常階段を下りる避難訓練をしている。今年9月には地域の人と一緒に消防署との訓練も予定されている。ホームには消火器6本、常備灯2カ所、誘導灯11カ所ある。水の備蓄も十分あり、食料備蓄は学区の防災コミュニティセンターにある。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	便通を整えるため、朝起きてすぐに水1杯を飲んでもらうよう支援している。リビングにはいつでも自由に水分補給ができるよう、お茶、レモン水など置いて、毎日の水分摂取量は介護記録に必要に応じて記録している。管理栄養士によるカロリー計算はないが、旬の食材を使い、ご飯は柔らかめにし、呑み込みやすくするために汁物を添え、肉、魚、野菜などをバランス良く摂取できるよう心がけている。		バランスのよい献立に努めているが、一度管理栄養士など専門職によるアドバイスや指導を受けられることを期待したい。
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下やエレベーターの側、玄関先にはソファやイスが多く置かれ、寛ぐことができる。窓からは緑の多い外の景色や人の動きが見え、網戸から入る風も心地よい。玄関にはメダカが泳ぎ、季節の手作り作品、外出時の写真、力士との写真も飾られている。大きな手作りカレンダーは毎日入居者によって変えられる。音楽が流れ、野菜を刻む音などの心地よい生活音も聞こえる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使い慣れた物や好みの物をできる限り持ってきてもらい、その人らしい部屋となっている。仏壇のある方には火気厳禁で線香使用はできないが、ご飯のお供えはできる。畳敷きにしてコタツがあったり、沢山の化粧品セットを揃えている方もいる。子どもや孫、ひ孫の写真や愛犬の写真なども飾られている。どの部屋もきれいに掃除されている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。